

中部プラスチックリサイクル協同組合 事業報告書

事業名 令和6年 秋の勉強会

担当・出席者 三河分科会（分科会長：杉浦教晃）・参加者19名

開催日時・場所 令和6年11月25日（月）岐阜

視察メカ様 エフピコ 中部リサイクル工場 様

エフピコ 中部リサイクル工場様では使用済みの食品トレイを回収し選別、粉碎、洗浄、溶融をし再び食品トレイに使用できる再生ペレットを作成していました。

内容

各自治体の分別回収品や提携スーパーと連携をし回収ボックスを設置し納品から回収まで連携して行っています。

障害者雇用も積極的に行っており、主に分別ラインでの作業を行っていました。

今後分別にかかるコスト削減の為、自動選別機の導入を予定しており、精度強化と分別数量増量を計画。

また回収した着色トレイの脱色化も協力工場と進めており今後30%のN色トレイの増産を見込んでいます。

担当所見

多くの組合員の皆様にご参加いただきました。徹底した分別と生産量で我々の業界と容器包装リサイクルで多くの共通点もあり参考になりました。

エフピコ様との材料調達の面で組合として連携は難しいですがペットの回収もしておりキャップ関連では資源としての可能性はある気がしました。回収の際のコスト面で多くの拠点を持ちエリアごとに回収をしている点では資源回収の難しさは共通の課題に感じました。脱色に関しては我々としては課題も多く現在は難しいですがいずれテーマとして挙がってくる可能性も感じました。

